1.　自己点検・評価の基礎資料

2.　自己点検・評価の組織と活動

1. 自己点検・評価の基礎資料

(1) 学校法人及び短期大学の沿革

＜学校法人の沿革＞

昭和31年 4月18日	学校法人白菊学園による光星学院高等学校設置
昭和34年 3月23日	学校法人光星学院設立認可　学校法人光星学院　理事長　中村由太郎　（初代）就任
昭和34年 4月 1日	学校法人光星学院による光星学院高等学校設置 八戸学院光星高等学校に校名変更　平成25年4月
昭和42年 6月 1日	光星学院高等学校付属しののめ幼稚園設置 八戸学院幼稚園　園名変更　平成29年4月 幼保連携型認定こども園に移行　平成30年4月
昭和43年 7月 1日	光星学院高等学校付属多賀台幼稚園設置 八戸短期大学附属多賀台幼稚園廃止　平成19年10月
昭和48年 4月 1日	光星学院八戸短期大学付属白銀幼稚園設置 八戸短期大学附属白銀幼稚園廃止　平成19年3月
昭和48年 4月 1日	光星学院野辺地工業高等学校設置 光星学院野辺地西高等学校　校名変更　平成 9 年4月 八戸学院野辺地西高等学校　校名変更　平成25年4月
昭和51年 4月 1日	光星学院八戸短期大学付属アンナ幼稚園設置 八戸学院聖アンナ幼稚園　園名変更　平成29年4月
昭和53年 4月 1日	光星学院八戸短期大学付属びわの幼稚園設置 八戸学院短期大学附属幼稚園びわの廃止　平成25年8月
昭和54年 4月 1日	光星学院八戸短期大学付属第二しののめ幼稚園設置 八戸学院第二しののめ幼稚園　園名変更　平成29年4月
昭和54年 4月 1日	光星学院野辺地自動車工学専門学校設置 光星学院野辺地工学専門学校　校名変更　情報会計学科開設　昭和59年4月 光星学院野辺地工学専門学校廃止　平成21年3月
昭和56年 4月 1日	八戸大学（商学部商学科）設置 八戸大学学部学科名称変更（商学部商学科→ビジネス学部ビジネス学科）平成16年4月 八戸大学人間健康学部人間健康学科設置、入学定員変更（ビジネス学部ビジネス学科 200名→100 名、人間健康学部人間健康学科100名）平成17年4月 八戸学院大学に校名変更　平成25年4月 八戸学院大学人間健康学部を健康医療学部に名称変更し、看護学科設置（ビジネス学科80名、人間健康学科80名、看護学科80名）　平成28年4月 八戸学院大学学部改組（ビジネス学部ビジネス学科→地域経営学部地域経営学科）平成30年4月
昭和58年 6月 1日	学校法人光星学院　理事長　中村キヤ　（第2代）就任
平成13年 4月 1日	学校法人光星学院　理事長　中村　覺　（第3代）就任
平成25年 4月 1日	学校法人光星学院　理事長　法官新一　（第4代）就任

＜短期大学の沿革＞

昭和46年 4月 1日	八戸短期大学開学（幼児教育学科開設）
昭和48年 4月 1日	光星学院八戸短期大学　校名変更（旧八戸短期大学）
昭和62年 4月 1日	光星学院八戸短期大学経営情報学科開設
平成16年 4月 1日	光星学院八戸短期大学学科名称変更、入学定員変更 （幼児教育学科80名→幼児保育学科100名、経営情報学科100名→現代ビジネス学科80名）
平成17年 4月 1日	八戸短期大学に校名変更（旧光星学院八戸短期大学）
平成18年 4月 1日	八戸短期大学現代ビジネス学科学生募集停止・八戸短期大学ライフデザイン学科設置（80名）
平成19年 3月31日	八戸短期大学現代ビジネス学科廃止
平成21年 4月 1日	八戸短期大学看護学科設置、ライフデザイン学科入学定員変更（80名→40名）
平成22年 3月18日	八戸短期大学が第三者評価の適格認定を受ける（短期大学基準協会）
平成25年 4月 1日	八戸学院短期大学に校名変更（旧八戸短期大学）
平成27年12月19日	八戸学院短期大学幼児保育学科棟竣工
平成28年 4月 1日	八戸学院短期大学看護学科を八戸学院大学健康医療学部看護学科に改組
平成29年 3月13日	八戸学院短期大学が第三者評価の適格認定を受ける（短期大学基準協会）
平成29年 4月 1日	八戸学院大学短期大学部　校名変更（旧八戸学院短期大学）
平成30年 4月 1日	八戸学院大学短期大学部　ライフデザイン学科募集停止

（2）学校法人の概要

- 学校法人が設置するすべての教育機関の名称、所在地、入学定員、収容定員及び在籍者数
- 平成30年5月1日現在

（平成30年5月1日）

教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
八戸学院大学	青森県八戸市美保野13-98	240	880	796
地域経営学部				
地域経営学科（平成30年4月開設）		80	80	72
ビジネス学部				
ビジネス学科		0	240	203
健康医療学部				
人間健康学科		80	320	317
看護学科（平成28年4月開設）		80	240	204
八戸学院大学短期大学部	青森県八戸市美保野13-384	100	240	213
幼児保育学科		100	200	193
ライフデザイン学科（平成30年4月募集停止）		0	40	20
八戸学院光星高等学校	青森県八戸市湊高台6-14-5	390	1,170	824
普通科		160	480	402
ビジネス科		30	90	73
工業技術科		80	240	116
保育福祉科		120	360	233
八戸学院光星高等学校専攻科	青森県八戸市美保野13-117	100	200	46
自動車科		60	120	23
介護福祉科		40	80	23
八戸学院野辺地西高等学校	青森県上北郡野辺地町字枇杷野51-6	150	450	227
総合学科		150	450	227
八戸学院幼稚園	青森県八戸市湊高台6-14-5		186	147
八戸学院聖アンナ幼稚園	青森県八戸市青葉3-23-7		90	64
八戸学院第二しののめ幼稚園	青森県八戸市新井田字小久保尻1-51		90	41

平成25年、法人内のすべての教育機関において、「八戸学院」を冠とする校名変更を行い、共通のシンボルマークを用いたロゴマークを制作した。本学のロゴマークを以下に示す。

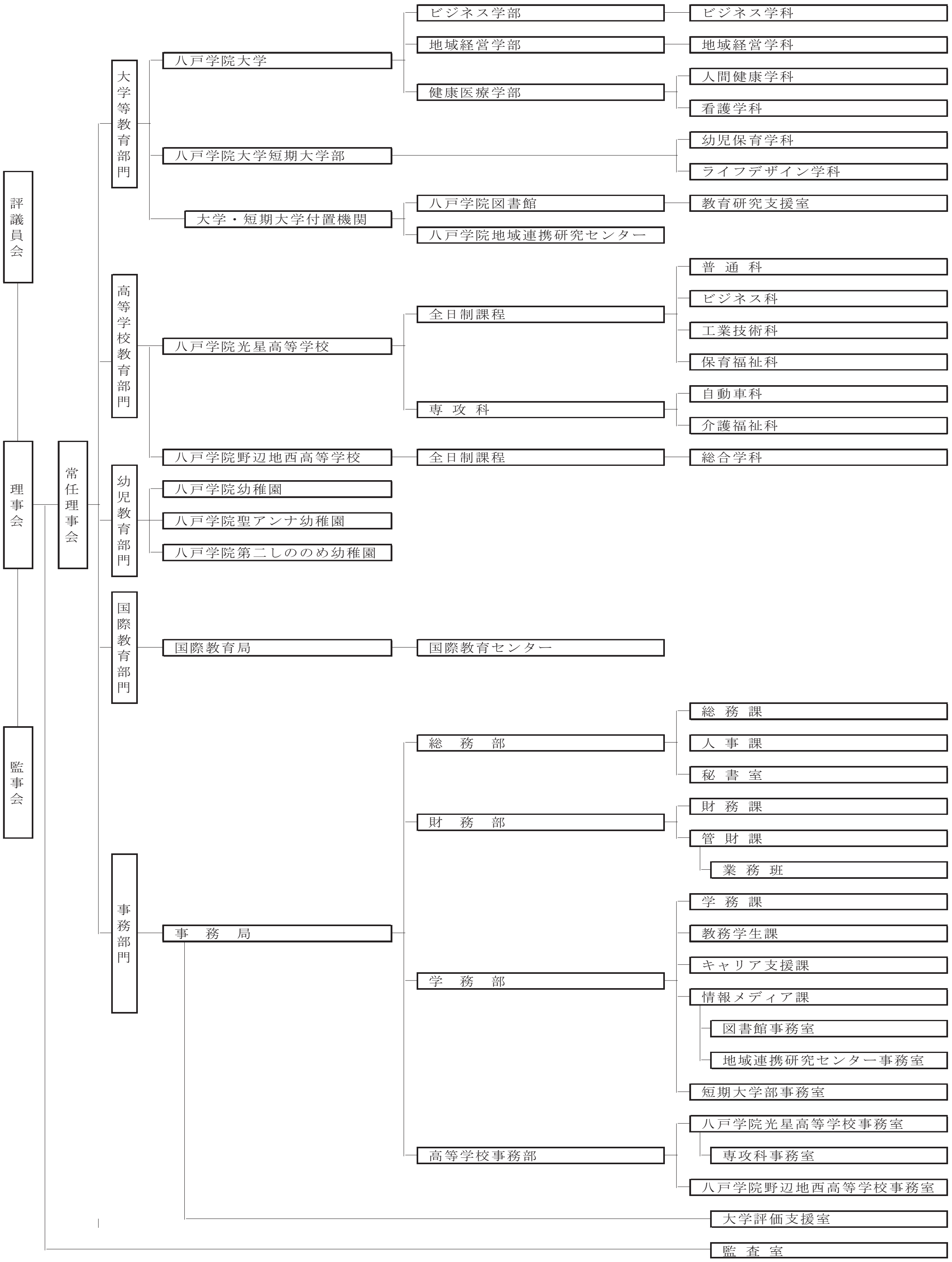
八戸学院大学短期大学部

シンボルマークは「八戸を愛する心」と「無限の可能性」の精神を込め、郷土の「南部菱刺(ひしざし)」をモチーフに「連続性」をデザインしたものである。八戸の「８」を表現するだけでなく、「八戸学院グループ」が時代を超えて連綿と受け継いでいく「未来への展望」をシンボライズしている。シンボルカラーは日本固有の伝統色である臙脂色(えんじいろ)とし、「内に秘めた情熱を持ちながら、冷静・沈着な思考力と行動力に富んだ人物像」をイメージしている。

（3）学校法人・短期大学の組織図

- 組織図
- 平成30年5月1日現在

学校法人光星学院組織機構図



（4）立地地域の人口動態・学生の入学動向・地域社会のニーズ

■ 立地地域の人口動態（短期大学の立地する周辺地域の趨勢）

本学は青森県八戸市に所在する。八戸市は太平洋に臨む青森県の南東部に位置し、県内第二の都市である。昭和 4 年の市制施行以来、全国屈指の水産都市として、さらには北東北随一の工業都市、国際物流都市として着実な発展を遂げ、現在では人口 232,680 人、世帯数 108,132 世帯の北東北の中核都市である。

本学の美保野キャンパスは八戸市の郊外、市街地を抜けて山林と農地に囲まれた静かな地区に存する。種差海岸（三陸復興国立公園）まで 5km の位置にあり、南に階上岳を望む広々とした敷地を擁している。

年別 平成	世帯数	人口			1世帯当たり人員	人口密度 （1km²あたり）	備考
		総数	男	女			
25	105,504	239,040	114,677	124,363	2.27	783	住民基本台帳(9.30)
26	106,267	237,776	113,999	123,777	2.24	778	〃
27	106,961	236,159	113,251	122,908	2.21	772	〃
28	107,532	234,429	112,460	121,969	2.18	767	〃
29	108,132	232,680	111,528	121,152	2.15	762	〃

資料：八戸市　市民課

■ 学生の入学動向：学生の出身地別人数及び割合

地域		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
青森県	八戸市	94	41.7	93	45.1	101	49.5	58	47.6	52	44.1
	十和田	21	9.3	11	5.3	22	10.8	11	9.0	12	10.2
	三沢市	15	6.6	14	6.8	11	5.4	9	7.4	10	8.5
	むつ市	3	1.3	9	4.4	0	0	2	1.6	1	0.8
	三戸郡	31	13.7	24	11.7	39	19.1	12	9.8	12	10.2
	上北郡	24	10.6	28	13.6	18	8.8	18	14.8	20	16.9
	その他市町村	8	3.5	5	2.4	0	0	2	1.6	2	1.7
岩手県		27	11.9	19	9.2	13	6.4	8	6.6	8	6.8
秋田県		3	1.3	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城県		0	0	1	0.5	0	0	0	0	0	0
山形県		0	0	1	0.5	0	0	0	0	0	0
福島県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	1	0.5	0	0	2	1.6	1	0.8
合計		226	100	206	100	204	100	122	100	118	100

［注］

□ 短期大学の実態に即して地域を区分してください。

□ この事項においては通信による教育を行う学科の学生を除いてください。

□ 認証評価を受ける前年度の平成29年度を起点に過去5年間について記載してください。

■　地域社会のニーズ

青森県内には 5 つの短期大学があるが、津軽地区に 4 つの短期大学が偏在し、南部地区には本学 1 校のみが所在している。この地域特性もあって、幼児保育学科はこれまで入学定員をほぼ満たしてきた。しかし、ライフデザイン学科は入学定員確保に苦慮したことから、平成 30 年 4 月学生募集を停止した。平成 31 年度には改組・改編が予定されている。

本学はほとんどの学生が近隣の市町村から入学しており、平成 29 年度の本学入学者の出身地構成は、92.4％が青森県内である。男女比では 9 割が女子であり、青森県内の女子によるニーズが大勢を占めていることが分かる。また、岩手県沿岸の久慈市・洋野町、内陸の二戸市・軽米町とは近隣関係にあり、それらの地域からも毎年一定数が入学している。交通の便が良い立地ではないが、スクールバスの路線が整備されていることや、地方の特性として自家用車の所有率が高いことから、自宅通学の学生が多いという特徴がある。

本学はこのように学生の構成上からも地域とのつながりが深く、また、学生・教職員ともにさまざまな形で地域と関わりをもち、地域社会のニーズに応えてきた。現在は八戸市・三沢市・階上町・五戸町・田子町・新郷村と地域協定を締結し、地域社会とのいっそうの連携を図っている。

■　地域社会の産業の状況

八戸市は恵まれた自然環境や、歴史・文化等を背景に地域資源を生かしながら、多種多様な産業を展開している。日本有数の水揚げ量と加工業の集積をもつ水産業、地域の食料供給を担う農業、国内一大基地化に向けてさらなる発展が見込まれる畜産業、北東北随一の工業集積、八戸港を利用した国際貿易、北奥羽地域中核となる商業などである。

また、八戸市は「総合計画」として、平成 23 年度から分野横断的な重点施策・事業に取り組んでいる。平成 28 年度～平成 32 年度は第 6 次八戸市総合計画として、次の 5 つを柱とした戦略プロジェクトを実施している。（八戸市公式ウェブサイトより）

1「人づくり戦略」
2「生業づくり戦略」
3「安心づくり戦略」
4「魅力づくり戦略」
5「自治体経営戦略」

本学では学科の特性を生かし、上記の「人づくり、安心づくり、魅力づくり」の分野で貢献活動を展開している。

■ 短期大学所在の市区町村の全体図

（5）課題等に対する向上・充実の状況

①　前回の評価結果における三つの意見の「向上・充実のための課題」で指摘された事項への対応について（基準別評価票における指摘への対応は任意）

(a) 改善を要する事項（向上・充実のための課題）
過去3か年の事業活動収支が、短期大学部門では収入超過となっているものの、学校法人全体ではわずかに支出超過であり、余裕資金に比べて負債がやや多くなっている。財務改善計画を策定し収支バランスの改善に努力することが望まれる。 ［平成28年度第三者評価結果（平成29年3月13日）］
(b) 対策
平成30年度はライフデザイン学科募集停止による学納金の減少で、短期大学部門の収支がマイナス予想であるが、介護福祉学科の完成年度となる平成32年度には短期大学部門、法人全体とも収支プラス確保となる見込みである。
(c) 成果
平成32年度以降、短期大学部門、法人全体とも収支が改善する見込みである。

②　上記以外で、改善を図った事項について

該当なし。

③　評価を受ける前年度に、文部科学省の設置計画履行状況等調査において改善意見等が付された短期大学は、改善意見等及びその履行状況を記述してください。

平成 27 年度　改善意見等なし。

（6）短期大学の情報の公表について

■ 平成30年5月1日現在

①　教育情報の公表について　【教育情報の公表：http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/】

No.	事　項	公 表 方 法 等
1	大学の教育研究上の目的に関すること	■短期大学の教育目的 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■幼児保育学科：教育理念・目的・目標 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/ ■ライフデザイン学科：教育理念・目的・目標 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/spirit/ ■教育目的：学則 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/wp-content/uploads/2018/05/gakusoku1.pdf
2	卒業認定・学位授与の方針	■短期大学学位授与の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■幼児保育学科：学位授与の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/ ■ライフデザイン学科：学位授与の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/spirit/

3	教育課程編成・実施の方針	■短期大学教育課程編成・実施の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■幼児保育学科：教育課程編成・実施の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/ ■ライフデザイン学科：教育課程編成・実施の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/spirit/
4	入学者受入れの方針	■短期大学入学者受入方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■幼児保育学科：入学者受入方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/
5	教育研究上の基本組織に関すること	■学科紹介 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/ ■幼児保育学科 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/ ■ライフデザイン学科 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/
6	教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること	■幼児保育学科：教員組織（一覧）・学位及び業績 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/teacher/ ■教員数＜職別専任教員数＞＜年齢構成別専任教員数＞ http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/
7	入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること	■入学定員、収容定員、在学者数、充足率 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/ ■卒業後の進路（就職先及び進学先） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/career/situation/ ■卒業者数、進学者数、就職希望者数、就職者数 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/
8	授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること	■幼児保育学科：カリキュラム（科目名） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/curriculum/ ■ライフデザイン学科：カリキュラム（科目名） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/curriculum/ ■講義概要（科目名・方法・内容・講義計画） https://sc06.hachinohe-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
9	学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること	■学修の成果に係る評価の基準／卒業又は修了の認定の基準（学則） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/03/gakusoku1.pdf
10	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	■校地・校舎等の面積／教室等の概要／図書館　図書・資料の所蔵数 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/ ■キャンパスの概要 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/campusmap/ ■交通アクセス http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/accessmap/ ■課外活動の紹介＜サークル・同好会一覧＞ http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/circle/

11	授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること	■授業料、入学金、その他の費用 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/nyushi/gakunoukin/
12	大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	■学生の修学：各種相談窓口 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/consult/ ■奨学金制度 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/scholarship/ ■進路選択 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/career/ ■心身の健康等に係る支援：各種相談窓口 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/consult/ ■下宿・寮情報 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/dormitory/

② 学校法人の財務情報の公開について

事　項	公開方法等
財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書	http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/disclosure/ 【http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/#zaimu】

［注］
□　上記①・②ともに、ウェブサイトで公表している場合はURLを記載してください。

（7）公的資金の適正管理の状況（平成29年度）

■ **公的資金の適正管理の方針及び実施状況を記述してください（公的研究費補助金取扱いに関する規程、不正防止などの管理体制など）。**

公的資金の不適切な使用が無いよう、文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」および「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づき、「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における公的研究費の管理・監査および研究活動における不正行為への対応等にかかわる基本方針」と「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部公的研究費の管理・監査に関する規程」を設け、順守している。また、平成29年度は9月に「科学研究費申請サポート講習会」を開催して教員への科研費申請を推進し、1月から3月に延べ３回の「研究倫理・コンプライアンス教育研修会」を開催して研究者による不正に対する基本的な考え方について指針を示し、教育・研究の活性化を図った。

研究費に関しては下記の規程にのっとり、適正に処理している。

「八戸学院大学短期大学部専任教員研究経費助成金取扱規程」
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学外共同研究規程」
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部受託研究取扱規程」
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部科学研究費補助金経理事務取扱規程」
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における予算執行の不正防止に関する規程」
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部研究者の行動規範」
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における公的研究費の管理・監査および研究活動における不正行為への対応等にかかわる基本方針」

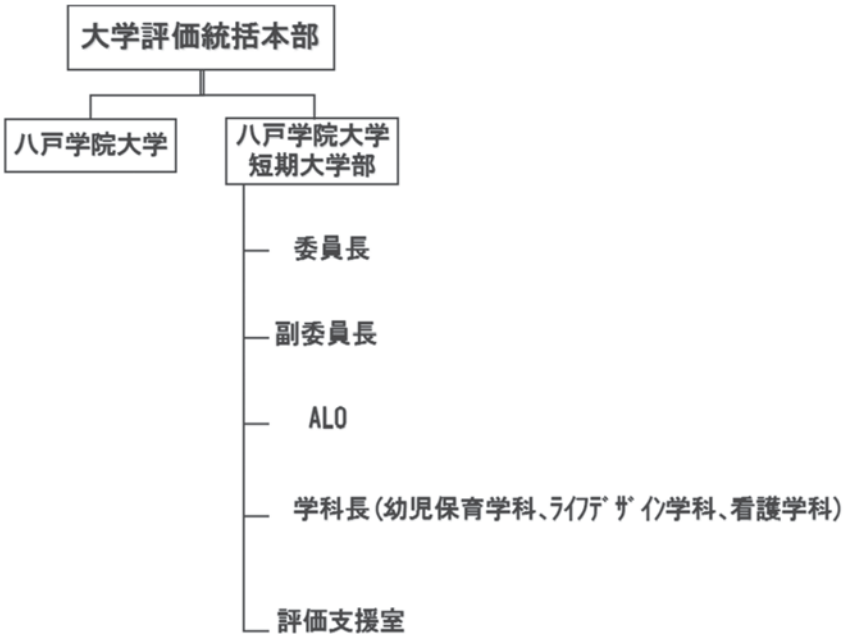
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部公的研究費の管理・監査に関する規程」
「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における研究活動等の不正行為に係る調査委員会設置要領」
なお、「学校法人光星学院公益通報に関する規程」により、不正使用・不正行為に係る通報窓口を設けている。

２．自己点検・評価の組織と活動

■　自己点検・評価委員会（担当者、構成員）

八戸学院大学短期大学部　　自己点検・評価委員会　　　　　　（平成29年度）

委員長	短期大学基準協会ALO ライフデザイン学科教授	大　久　保　等
副委員長	教務委員長・幼児保育学科教授	杉　山　幸　子
委員	学長・幼児保育学科教授	外　崎　充　子
〃	ライフデザイン学科教授	中　村　　　修
〃	学長補佐・ライフデザイン学科長・教授	茂　木　典　子
〃	幼児保育学科長・教授	附　田　勢津子
〃	看護学科長・教授	羽　入　雪　子
事務局	大学評価支援室	工　藤　美那子 河　村　千代美



八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部大学評価統括本部　（平成29年度）

本　部　長	大学学長補佐	吉　田　　　稔
副本部長	自己点検評価委員長	大久保　　　等
本　部　員	大学学長	大　谷　真　樹
〃	短期大学部学長	外　崎　充　子
〃	大学学長補佐	丹　羽　浩　正
〃	大学学長補佐	玉　樹　真一郎
〃	大学学長補佐	松　山　政　義
〃	ビジネス学部長	大　沢　　　泉
〃	健康医療学部長	遠　藤　守　人
〃	健康医療学部看護学科長	蛭　田　由　美
〃	短期大学部学長補佐・ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ学科長	茂　木　典　子
〃	短期大学部幼児保育学科長	附　田　勢津子
〃	短期大学部看護学科長	羽　入　雪　子
〃	大学自己点検評価委員長	坂　本　貴　博
〃	総務部長	千　田　健　一（新）
〃	学務部長	岩　浪　始　由
専　門　員	大学自己点検評価委員会副委員長	瀧　澤　　　透
〃	短期大学基準協会 ALO	大久保　　　等（再掲）
事　務　局	大学評価支援室	工　藤　美那子
〃	大学評価支援室	河　村　千代美

■　**組織が機能していることの記述**

大学評価統括本部は「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部大学評価に関する規程」に基づき平成24年に組織され、自己点検評価の基本方針および実施方策を定めている。

八戸学院大学短期大学部自己点検・評価委員会は規程に基づき、自己点検・評価の計画と実施、報告書の作成、公表を執り行い、第三者評価受審時における対応組織としても役割を果たしている。

平成29年度の「自己点検・評価報告書」は28年度に続き、全員参加体制の強化を図り、自己点検・評価個人シートを全教員が作成した。自己点検・評価個人シートは学科長がとりまとめ、学長が総括して全員に配布し、その内容を自己点検報告書の記述に反映させている。本学の重点目標である「教育の内部質保証」と「地域貢献」についても、各教員の報告により実態を報告している。

平成23年度より大学と本学とで相互評価を実施している。両学の委員が相互に書面質問(コメント)を提出し、両学の委員会は内容を確認し、回答をする。

両学では相互評価を次年度報告書の作成に反映させ、検証結果を報告する。相互評価により、新たな気づきや着想が喚起され、次年度の報告書に改善が加えられている。

本学では毎年行う自己点検評価により、学内外の現状把握が的確に行われ、問題点

が顕在化されて改善の方向性が明確になってきている。

■　自己点検・評価報告書完成までの活動記録

平成29年度

平成29年11月22日	(統括本部)平成29年度自己点検・評価報告書作成マニュアル上程
平成29年12月21日	(教授会)自己点検・評価報告書作成の説明会
平成30年 1月29日	執筆者宛、報告書作成依頼
平成30年 2月 5日	報告書用資料(教員個人シート等)第1次締切
平成30年 2月22日	報告書原稿区分担当者締切
平成30年 2月27日	(委員会)報告書原稿提出状況確認、29年度事業報告の承認
平成30年 3月 9日	報告書原稿テーマ担当者締切

平成30年度

平成30年 4月20日	30年度事業計画の承認、編集作業日程について、基準担当分野の変更承認、年度末確定数値の入力督促
平成30年 6月 1日	(委員会)報告書編集会議「基礎資料」「基準Ⅰ」「基準Ⅱ-A」
平成30年 6月 8日	(委員会) 報告書編集会議「基準Ⅱ-B」
平成30年 6月12日	(委員会) 報告書編集会議「基準Ⅳ」
平成30年 6月25日	(委員会) 報告書編集会議「基準Ⅲ-A」、「基準Ⅲ-B」
平成30年 6月29日	(委員会) 報告書編集会議「基準Ⅲ-C」、「前回の認証評価で記述した改善計画の実施状況」
平成30年 7月20日	(委員会)報告書編集会議「基準Ⅲ-D」、報告書(案)完成
平成30年 7月25日	(統括本部)平成30年度自己点検・評価報告書を上程
平成30年 7月31日	印刷発注（業者へ引渡し）
平成30年 8月31日	平成30年度自己点検・評価報告書を配布